



あ、あの…
風舞希さん…？

もう離れて
大丈夫ですよ…？

……



ふ、風舞希さん!!



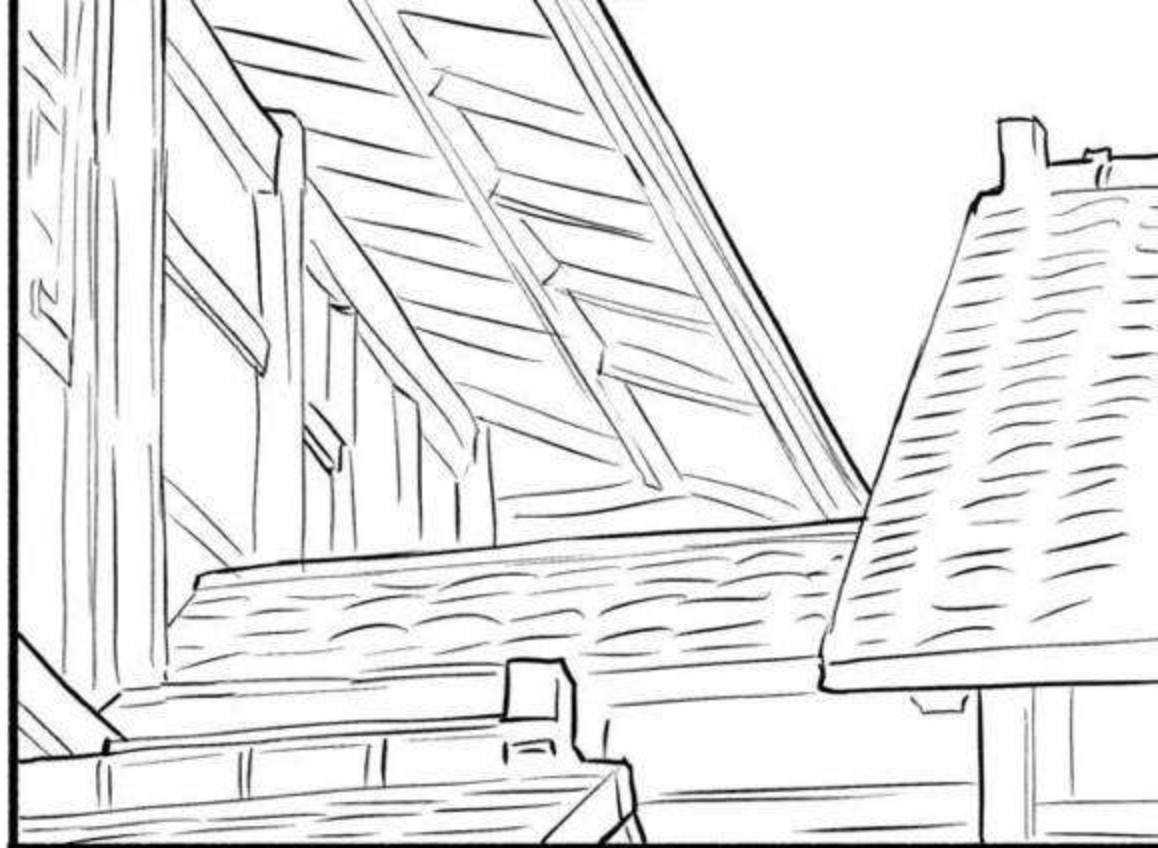
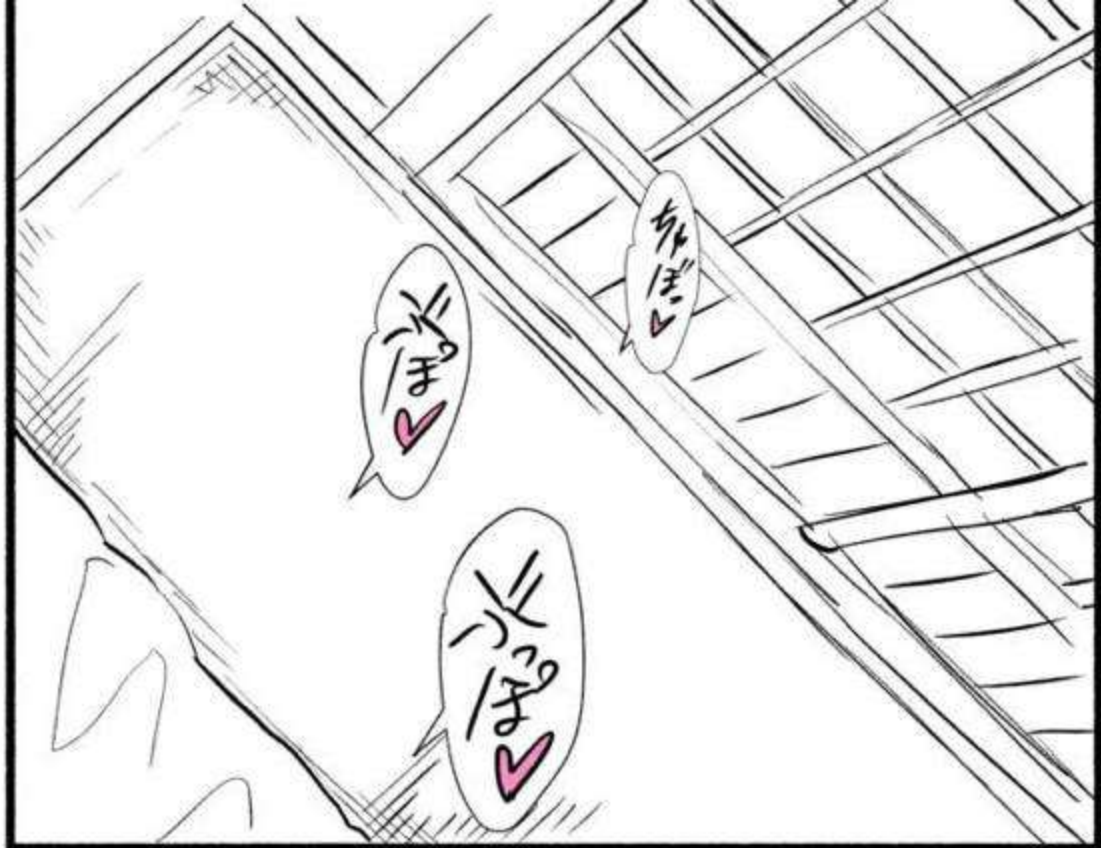


素晴らしい...こんなに大きいの...?
あっ!!
す、すいませんっ

母様の教え
“己を律する”...

それにすっぴんく
オス臭い...
たまらないわ...♡

これが正しだと
思う間は
気持ちを抑えないと...





はぁーっ♡

はぁーっ♡

うん♡

うん...

うん♡

うっ...
あぁっ...

うん♡

うん♡

うん♡



ふふ…
若いわね

さっき出したのに
まだまだガチガチに
硬いわ…♡

ふ、風舞希さん
あの…っ

すっ

すっ

にぎ

にぎ



やっぱり私みたいなおばさん相手じゃ嫌かしら？

いえっ！そんなことは全然！風舞希さんお若いし綺麗だしでも……

!?

気持ちいい

ア……



ごめんね……本当は己を律しなけばならぬのだけど……

もう我慢できないの……♡

申し訳ないけれど私のためだと思って優希くんの体を貸してくれないかしら……？

風舞希さん……

お願い……

こんなに固くて
熱い立派なおちんちん
初めてよ……

ばる

あん♡
すごいわ……

そんなに
動かしたら
入っちゃいますっ

うっ
ああ……っ

ぬち

まだ擦ってるだけ
なのに……

気持ちよくて乳首が
勃っちゃう……♡

ピッ
ピッ
ピッ

にゅ
にゅ

にゅ





激し...ッ♡

どっとうしたの?!
いきなり...ッ

ドクドク

ドクドク

ドクドク

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡



うっ...ッ!!

ドクドク

ドクドク



すごい...
どんどん溢れて
くるわ...

はっはっ

ずるん